

NPO法人障害者の自立を支援する会

「障害者の自立支援と商店街の活性化」

団体の活動概要

地域の山林の荒廃を防ぐため、森林管理士の資格取得、環境保全の活動を積極的に行っています。

また、日立市大久保町の里山の整備のため、日立林業組合に入会しました。日立地区をはじめ各地域の里山の下刈り、間伐、植林等を行っています。

日立市内障害者施設利用者の工賃増額のために生製品の販売促進活動、生製品紹介のホームページを作成しているほか役務作業の仲介や紹介を行っています。

活動の特色

平成二十一年五月に日立市精神障害者を守る会（家族会）と各ボランティア団体の協力を得て、その活動はさらに活発となり、障害者の地域参画と活力の低下した商店街の活性化を図ることとなりました。現在では、商店街の空き店舗を利用して、生製品の販売と障害者を含めたすべての地域住民、この町を利用する人たちの交流が行われ、活力ある街づくりと障害者たちの生命力あふれる生活をつくりあげる活動になっています。

活動の内容

「つどいの広場」情報交換、地域住民と障害者の交流の場所を開所（週五回）

障害者施設等の生製品の販売活動（週五日）

里山の環境保全活動、障害者と高齢者の同居確保の検討（七月・八月）

まちの住民と里山所有者との交流事業の検討（九月）

間伐材利用の商品開発検討

障害者の法律相談（十一月・二月）（十月）

活動の成果

日立市多賀の通称よかつべ通りに面する谷川ビル1階店舗を所有者のご好意にて無料で貸していたとき、平成二十年十一月に「つどいの広場」として開所しました。障害者と地域の方々、商店会の交流の場所が提供されたことにより、商店街との関係が良好になりました。各商店主たちとの事前の意見調整により商店側と障害者の、更に良好な関係が作っていき

今後の目標

商店街の活性化、障害者と地域住民との交流に取り組みます。情報交換の場「つどいの広場」の活用、障害者施設が生製品の販売促進活動、役務作業の仲介と紹介、工賃増支援助、障害者とともに里山の環境整備と再生活動、まちの

住民と里山所有者との交流会、間伐材利用の商品開発等、里山の資源をまちの活性化に活用していきます。また、里山自然物産の販売、市街地区の空マンション等に障害者と高齢者の同居を確保することの検討を引き続き行い、障害者の自立と地域参画、活力の低下した商店街の活性化をめざします。



Profile



NPO 法人障害者の自立を支援する会
代表：照山 次男
住所：水戸市東台 2-16-16-101
電話：029-233-2127

睦読書会・プレイルーム

「読書と手作りの楽しさを伝える」

団体の活動概要

睦読書会は、市内の幼稚園・保育園を訪問して、手作りのカーテンシアター・ブラックシアター・パズル・寸劇等を上演して、子供達に読書の楽しさを伝えています。プレイルームは、布で大きな絵本を製作し、図書館に納め、子ども達に楽しんでもらっています。

また、月に一度「手作り教室」を開催し、大人と子どもと一緒に木や布や紙で絵本やおもちゃを製作しています。ここでは、自分の手で創り出していくことの大切さを伝えていきます。

活動の特色

過去二十年近くは、旧友部町の中だけで「手作り絵本展」を開いてきましたが、今年八月、初めて外に向けての展示会に挑戦しました。

より多くの人達に『布絵本』の色、美しさを目で楽しみ、更には手の感触からも言葉が広がることを伝えたいからです。

今回展示された多くの『布絵本』は、布の柄や質感を活かして、大人が布の絵を製作し、それを見て子ども達がお話を創作する、まさに

に大人と子どもとの共同作品です。これは、この会独特のもので他には無く、子どもの言葉の力を育て、想像力を豊かにして、生きる力となっていく絵本です。

活動の成果

八月六日から九日まで開催した県立図書館ギャラリーでの「布と木と紙の絵本展」には、約六百人の人が「手作りの世界」を楽しんでくださいました。夏休み期間中でもあり、多くの子供達が、一冊一冊、絵本を丁寧に見ていたことが、とても印象的でした。牛乳パックで作った『くるくる絵本』は大人気でした。また、八日に行なった「ししかけ絵本作り教室」も盛況で、出席者全員、個性豊かな絵本を仕上げました。

今後の目標

ブラックシアターの機材が購入でき、子供達に幻想的な絵本の世界を紹介でき嬉しく思っています。

今後は、この幻想の世界を一人でも多くの

人に楽しんでもらえるよう、研鑽を重ねていきます。

また、目に見えない想像の世界を、目に見える世界に変える「絵本づくり」を通して、子供の言葉とイメージする力を育んでいきます。

メッセージ

私達は、子ども達に、できるだけ多くの言葉と出会い、想像の世界に浸ってもらいたいと考えています。心を震わせるような体験を沢山して、人間性豊かな人に成長することを願いつつ、今後も活動をしていきます。



Profile



睦読書会・プレイルーム

代表：熊谷 美喜代

住所：〒309-1737

笠間市中央 4-2-15

電話：0296-77-3932

活動内容：

- ①「手作り絵本教室」開催
毎月第二土曜日 10：00～
- ②布絵本の製作
- ③お話会開催・年3回



なかさん元気っ子あそび会

「かまど炊きごはんつくり・あそび会」

団体の活動概要

私たちは地域の子育て支援ボランティアで「なかさん元気っ子あそび会」を実施（十八年度設立）しています。

地域の幼児・小中学生を募り、地域を散歩し地域の特色や歴史・名所など調べることで、ふるさとの良さを発見していく機会となる



世代を超えた活動

ような活動をしています。また、地域住民の支援により体験型のあそび会を中心に活動し、特に、高齢者との交流により、地域の特色や伝統を伝えるとともに、地域住民の活性化と郷土愛を育むことを目的としています。

「かまど炊きごはんつくり」「もちつき大会・繭玉つくり」などの各事業やその日のあそび会では、地域のボランティアと高齢者や高校生などが子ども達を支援する形で行っています。子ども達と高齢者と混合チームで行う「ビー玉送り」や「輪投げ」は、にぎやかな応援と勝利の歓声で世代を超えた交流になり盛り上がりました。

子ども達は、初めての体験での感動や高齢者の方から教えていただいたことの感想を一枚の新聞にまとめました。まとめた新聞は高齢者等に回覧し読んでもらいました。地域の活動として記録に残るとともに、子ども達にとってもふるさとの思い出に残す記録となりました。

活動の成果

子ども達には高齢者への尊敬の気持ちと郷土愛が育ち、高齢者には昔の体験を子ども達に事伝えることで「元気な笑顔」になり活気ある地域となり相乗効果が見られました。また、ボランティア同士の間も良くて多様な活動と支援ができるようになりました。

今後の目標

高齢者の方には、戦争体験や食生活の今昔及び行事・祭事食について、子ども達に伝えていただきたいと願っています。このため地産地消の一環として、地域の農家と子ども達が交流し、活動を広げていくことでふるさとの良さを体験できる企画にしていきたいと考えています。

メッセージ

企画する者が各事業の計画や役割、当日の内容やタイムスケジュールなどを明確にすることで充実した活動ができたと思います。



Profile

なかさん元気っ子あそび会
 代表：住谷 里子
 住所：東茨城郡那珂西 1917-3
 電話：029-288-2280
 活動エリア：那珂西三区公民館



「出来るい」から始めよう」「いの指生まれ」

団体の活動概要

わたしたちの住んでいる「まち」には映画館がありません。それなら「私たちの手で映画の上映を！」といったことから始まった活動。そして一九九二年から二〇〇二年まではフリーマーケットやアーティスト、ビーチ・クリーナップなどの環境イベントを展

開、二〇〇三年以降は、主に「まちライブ」として、アマチュア音楽家の発表の場の提供や、私たちの活動の趣旨に賛同してくれたプロの演奏家の協力を得て、私たち自ら、企画から当日の運営まで行い、自治体のホールではなく、まちのあちこち（レストラン・結婚式場等）で「ライブ（コンサート）」を開催しました。一年を通じ、「ま

ちを元気にしていこう！」という活動を展開しています。

活動の特色

「出来ることから始めよう」「この指生まれ！」この二つが私たちの活動の柱になる言葉です。活動は強制するものではなく、「好きなもの・こと」に対して何かをしよう！ということが、私たちが活動を始めた時の考えで、その思いは今も変わりません。何かをする、出来るだけ自分たちの力で、また、特定の場所だけでなく、まち内外・県内外と活動の場所を広げ、他の団体とも積極的に参加・協力しながらつながりを持ち、会員だけでなく、色々な人たちが関わって、お互い出来ることをして（続けて）います。

今後の目標

「あそこで何か楽しそうなことをしている！」そういった声がいりいろなところから聞こえ、そしていろいろなところから色々な人が、私たちの住むこの「まち」に楽しみをもとめてくる、また、地元に住んでいる人たちも楽しさを共有していく、そういう「まち」にしたいと思いつながら活動を続けています。また、活動の拠点となる場所を複数作っていかうと思っています。

メッセージ

「すべての人の心に花を」



活動の成果

私たちが行ってきたこと、それはほんの小さなことかもしれませんが、けれど、長い間続けてきたことで、少しずつですが、まちに「声」

と、「活気」が出てきたように思えます。



神栖市

Profile



EAST WIND

代表：横田 文弘
住所：神栖市波崎 8669
電話：0479-44-3699
会員数：27名

ふれあい・いきいきサロン 天川ふれあい円クラブ

「グラウンドゴルフを通じて、要介護にならない為に、楽しみながら健康増進を図る」

団体の活動概要

健康の大切さと生きる喜びと、楽しい仲間づくりの活動を目的として、高齢者の「心と体の健康作り」に取り組んでいます。

活動の特色

- 一 協働性：町内会・天寿会・かざぐるまとの協力にて、要介護にならないためにグラウンドゴルフを楽しんでいます。
- 二 複合性：地域福祉・環境保全・青少年育成・交通安全・地域の活力づくり等を実施している。
- 三 専門性：要介護にならないために、草刈りなどの環境美化活動・食生活についての各研修会を実施している。
- 四 広域性：健康体操、グラウンドゴルフ等をクラブの活動から町内全体の活動に広げた。
- 五 先進性：いきいきヘルス体操や、グラウンドゴルフを他の団体より先に取り入れた。

活動の成果

- 一 要介護にならないために、「天川ふれあい円クラブ、常にみんなが主役、みんなで運営、夢が大きく広がり、楽しく・気楽に・

無理なく」をスローガンに、グラウンドゴルフを実施したことにより、ロコモで会員も増えています。

- 二 グラウンドゴルフは、高齢者、障害者、地域住民だれでもが参加でき、優しくて会話をしながらできるため、健康の増進に最適で、笑いがたえない楽しい仲間づくりが出来た。（嬉しいです）
- 三 グラウンドゴルフは場所を選ばず町内の公民館・公園・広場など、どこでも出来るため、会員に負担を掛けることなく楽しく実施出来るため、大きな効果につながっています。

今後の目標

- 一 他的高齢者クラブにも、呼びかけて一人でも多く要介護にならないようにしていきたい。
- 二 天川ふれあい円クラブ全員がグラウンドゴルフに参加出来るように頑張っています。
- 三 グラウンドゴルフの練習を重ねて、町内・土浦市・茨城県の大会に参加していきます。
- 四 天川ふれあい円クラブの事業に対して参加が増加しています。が、常に九十%以上の参加率に

なるように努力して行きます。

- 五 日帰り・泊まりを兼ねて自然に囲まれた天然芝の爽快なコースで実施できるように検討して行きます。
- 六 天川町内の人口二、二五七人のうち六十歳以上が八六八人（三十八%）であり、高齢者の健康増進活動を通じて町内の皆様が元気で笑いのたえない町にして行きます。

メッセージ

天川町内の誰もが健やかで心豊かに暮らしていくためには、天川に住む皆さん一人ひとりが、お互いを理解し共に支え合えるような地域社会を自ら創造していく必要があります。

グラウンドゴルフは、血圧・血糖値を下げる効果もあるので、要介護予防と健康増進の為に、楽しみながらをこれからも進めて行きます。

また、町内で一番困っている腰痛・肩・足の痛み等の対応として、健康体操を他町内よりいち早く取り入れたことにより「体が軽くなった」「座れるようになった」との声があり会員も増加しています。



Profile

ふれあい・いきいきサロン
天川ふれあい円クラブ
代 表：新堀 茂男
住 所：土浦市天川 2-15-5
電 話：029-822-5564
活動エリア：天川児童公民館・天川公園

毎週火曜同
午後 1 時～ 4 時まで